

企 画 経 済 委 員 会 委 員 協 議 会 記 録

1 会議の日時	開 会 午前 9 時 57 分 令和4年8月29日 閉 会 午前 11 時 33 分
2 会議の場所	議会西棟3階 第1会議室
3 出席者	委 員 委員長 高 殿 尚 副委員長 小 川 祐 輝 田 中 勝 士 野 村 美 穂 加 藤 大 博 中 川 裕 子 平 野 恭 子 (欠席:玉 田 和 浩)
	執 行 部 別 紙 配 席 図 の と お り
4 事務局職員	主査 水 谷 昭 之 主任 脇 若 知 香 子

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	コロナに加え原油高・物価高等により影響を受ける中小事業者への支援の状況について	
2	旅行需要喚起策の実施状況及びインバウンドの本格再開に向けた取組について	
3	その他	

## 6 議事録（要点筆記）

### ○高殿尚委員長

ただいまから企画経済委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るため、開催したものである。

本日の議題は、お手元に配付した次第のとおり、1 コロナに加え原油高・物価高等により影響を受ける中小事業者への支援の状況について、2 旅行需要喚起策の実施状況及びインバウンドの本格再開に向けた取組についてである。

なお、執行部の出席者については、議題に関係する所属に限定しているので、ご了承を願う。

初めに、コロナに加え原油高・物価高等により影響を受ける中小事業者への支援の状況についてを議題とし、執行部の説明を求める。

（執行部挨拶：崎浦商工労働部長）

（説明：田口商工・エネルギー政策課長）

### ○高殿尚委員長

ただいまの説明に対して、質問等はあるか。

質疑は、一問一答で願います。

### ○野村美穂委員

求職者へのメンタルカウンセリング事業について、メンタルカウンセラーの配置人数、カウンセリング回数、精神面に不安を抱える求職者の現状について教えてほしい。

### ○渡辺産業人材課長

県総合人材チャレンジセンターとアクティブG内の同センターのぎふ出張相談窓口に、メンタルカウンセラーを各1名、計2名配置し、本年度は50回以上カウンセリングを実施する予定。県総合人材チャレンジセンターによるキャリアカウンセリングの中で、精神面に不安を抱える求職者は、令和3年度秋まで新規で月1～2名程度であったが、11月には6名、12月に10名、令和4年3月には12名と増加傾向にある。

### ○野村美穂委員

メンタルカウンセリングが必要な方は、これまでもいたのではないかと。

### ○渡辺産業人材課長

これまでもいたが、昨年秋から急増しているため、今回の事業において、メンタルカウンセラーを配置し、対象者への直接カウンセリングや福祉、医療などの適切な機関への取り次ぎを行うほか、キャリアカウンセラーへ指導助言を行う。

### ○加藤大博委員

絶対数として、精神面に不安を抱える求職者の数は、どのくらいいるのか。

### ○渡辺産業人材課長

これまでの県総合人材チャレンジセンターによるキャリアカウンセリングの中で、精神面に不安を抱える求職者の数は、累計100名程度いる。メンタルカウンセリングが必要かどうか、カウンセラーと相談しながら進めていきたい。

### ○田中勝士委員

物価高騰に伴う建設業への影響は把握しているか。

### ○田口商工・エネルギー政策課長

建設業については、業界団体を県土整備部が所管しており、商工労働部では定期的なヒアリングを実施していない。

### ○田中勝士委員

原材料価格の高騰で、新規の設備投資ができない企業も増えていると聞いており、まとめて把握すると全体像が見えやすいので、ぜひお願いしたい。

### ○田口商工・エネルギー政策課長

今後も影響を把握していく中で、検討させていただく。

### ○加藤大博委員

デジタル技術を活用した運送事業者による共同輸配送サービス機能の構築等による持続可能な地域物流モデルの普及について、サントリーホールディングスと大王製紙が、飲料製品や紙製品を混載し、物流を効率化するというニュースを見たが、この事業の一環か。

○板津産業デジタル推進課長

今回県で実施する事業とは無関係である。

○加藤大博委員

アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金については、こういった業種からの申請が多いか。

○田口商工・エネルギー政策課長

今年度の一次募集において、495件の申請をいただいております、上位の業種については、1位は137件でサービス業、2位は124件で製造業、3位は95件で飲食業となっている。

○加藤大博委員

商工会や商工会議所とはどのように連携しているのか。

○田口商工・エネルギー政策課長

商工会や商工会議所には、普段から困りごとなどの相談がある中で、新事業展開などを希望する事業者にも本事業を紹介いただくとともに、事業実施にあたっては伴走型による支援を行っていただいている。

○野村美穂委員

アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金、アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金について、具体的にこういった申請事例があるか。

○田口商工・エネルギー政策課長

アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金については、例えば、飲食業において、店頭販売からテイクアウトやEC販売への進出、キッチンカーの導入などがある。

○久野地域産業課長

アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金については、例えば、冷蔵コンテナ導入による新リキュール商品の開発や、レーザー溶接機導入による金型のメンテナンスなどがある。

○田中勝士委員

県制度融資で創設した新たな資金メニューの実績18件について、業種、資金用途の内訳を教えてください。

○中垣内商業・金融課長

業種としては、製造業が1件、非製造業が17件。用途としては、運転資金が16件、設備資金が2件となっている。

○田中勝士委員

サプライチェーン対策への支援は、こういった業種からの申請が多いか。

○浅井企業誘致課長

申請35件のうち、輸送用機器部品や半導体製造装置部品の生産設備導入が多い。

○高殿尚委員長

質疑も尽きたので、これをもってコロナに加え原油高・物価高等により影響を受ける中小事業者への支援の状況については、終了する。

次に、旅行需要喚起策の実施状況及びインバウンドの本格再開に向けた取組についてを議題とし、執行部の説明を求める。

(説明 池戸観光誘客推進課長)

(説明 加藤観光誘客推進課観光誘客企画監)

○高殿尚委員長

続いて、質疑に入る。

ただいまの説明に対して、質問はあるか。

○野村美穂委員

PR動画を「ダ・ヴィンチ・コード」撮影チームが製作することとなった経緯を教えてください。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

訪日の予定があった撮影チームにコンタクトを取り、本県のブランディングを説明の上、県内を視察

いただいたところ、先方から是非撮影したい旨の申し出があったもの。

○加藤大博委員

旅行割引キャンペーンと比べ、ぎふ旅コインにおける60代以上の利用率が高いのはなぜか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

旅行割引キャンペーンの利用率は、対象がオンライン（じゃらん・楽天トラベル）利用者のみであるのに対し、ぎふ旅コインは、全ての利用者を対象としているため、差が生じている。

○加藤大博委員

検索エンジンで検索結果が上位に表示されるためのSEO対策の具体的な内容を教えてほしい。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

キーワード解析のほか、競合する他者との比較や各種SNSから誘導するような仕組みを構築している。

○加藤大博委員

SEO対策は自前で実施できるものか。また、その際に必要な費用はいくらくらいか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

年間約500万円をかけて自社で実施する事業者もいる。県では今年度、自社で対応できない事業者が外注できるよう補助制度を創設した。

○加藤大博委員

県ホームページにおけるSEO対策の費用はどの程度の規模か。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

毎年1千万円程度。

○加藤大博委員

県が造成したサステイナブル・ツーリズム関連の着地型体験ツアーについて、箇条書きで良いので一覧での提供を求める。

○田中勝士委員

海外の現地事情等に関する情報収集が重要と考えるが、その収集方法はどのようにしているか。またどのような動きや課題があるか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

海外への派遣職員やこれまで関係を築いてきた世界中の旅行会社等の事業者、現地旅行博への出展等を通じて情報収集している。海外からの旅行需要はあるものの、ビザの取得や航空機の便数減少等が課題となっている。

○田中勝士委員

インバウンドの本格再開に向けて、デジタルとリアルの両面で状況を把握しながら対策を講じてほしい。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

デジタルマーケティングによる分析を進めつつ、これまで築いてきた事業者等との関係性という強みを活かしながら取り組んでいきたい。

○加藤大博委員

インバウンドについて、個人旅行が増え、国際空港近隣都市に宿泊が集中する傾向は、今後も続くのか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

インバウンドの本格再開はこれからであるが、密を避けるため、少人数でレンタカーなど車を利用した旅行が増えてくると予想しており、今年9月以降、ドライブツーリズムのプロモーションを展開する予定。滞在時間の延長につながる体験コンテンツの増加や、デジタルマーケティングによる取組の強化など、本県への誘客に向けた準備も進めている。

○小川祐輝副委員長

米国旅行雑誌「Travel+Leisure」への掲載とあるが、米国人は本県の何に興味を持っているのか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

Webサイト上では、自然体験への流入が多い傾向にあるが、今回の雑誌掲載にあたっては、記者が

養老天命反転地や陶磁器に興味を示し、取材先として選定した。

○小川祐輝副委員長

雑誌掲載時には提供いただきたい。ぎふ旅コインのアプリの県内のダウンロード数はどの程度か。

○池戸観光誘客推進課長

ダウンロード数は、今年度が20万件、昨年度が5.4万件となっている。

○小川祐輝副委員長

ぎふ旅コインの利用期間が短い印象があるが、使われなかった金額はどのくらいか。

○池戸観光誘客推進課長

8月23日時点で、チャージ額が9億5千万円、利用金額が9億1千万円となっており、ほとんど利用されていると考えている。

○小川祐輝副委員長

ぎふ旅コインの今後の活用方法はどうか考えているか。

○池戸観光誘客推進課長

各市町村での活用や、旅行割引キャンペーン以外のイベント等での活用を予定している。

○高殿尚委員長

教育旅行の誘致に向けた方針や予定について教えてほしい。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

現在は、愛知県、関西地方からの旅行がほとんどであるが、今後は関東からも呼び込めると考えている。教育旅行誘致に向けた取組の効果が出るのは1年半以上先になるため、引き続き戦略的に取り組んでいきたい。

○高殿尚委員長

インバウンドについて、数値目標はあるか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

関西・大阪万博が開催される2025年には、2019年の数値（過去最高）を超えられるよう取組を進めている。

○田中勝士委員

観光企画課、観光資源活用課、観光誘客推進課の3課の業務分担を教えてほしい。

○渡部観光企画課長

観光企画課は観光全般の政策立案や局内の取りまとめを、観光資源活用課は観光資源の磨き上げや観光地域づくりの支援、関ヶ原古戦場を中心とした戦国・武将観光の推進を、観光誘客推進課は誘客プロモーションの展開等をそれぞれ担当している。

○高殿尚委員長

質疑も尽きたので、これをもって質疑を終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、他に何か意見等はないか。

また、執行部の方、よろしいか。

○高殿尚委員長

ご意見もないので、これをもって、本日の委員協議会を閉会する。

# 企画経済委員会委員協議会配席図

令和4年8月29日(月) 10:00~

議会西棟3階第1会議室

